

## 住育：バリアフリーについて

報告 下川滝美

今年度の住育はバリアフリーをテーマとした内容です。

誰もが「暮らしやすいまちづくり」ということで鉄道をとりあげ夏休みを利用して子供たちにもバリアフリーを体験してもらいました。

### ●5月25日 関市と美濃市でバリアフリー研修を企画しました。

夏休みの調査の事前研修として道の駅など先進的なバリアフリーを見学してきました。

トイレ、駐車場など車いすでも移動がしやすいか、どのような配慮があるかを見てきました。



### ●7月22日 レールバスに乗ってバリアフリー体験をしました。

樽見鉄道の織部駅から日当駅を車いすの方と一緒に移動をしてどのようなことが大変なのかを実際に子供たちと体験をしました。ワークショップでは障がいがあると、どのようなことが困難なのか、どんな情報があると良いかを話し合いました。



### ●8月22日 駅のバリアフリー調査をしました。

樽見鉄道のモレラ岐阜駅、本社のある本巣駅の二つの駅の調査をしました。

とても暑い日でしたが最新の駅と設備が古い駅の両方を調査することでどのような設備が体の不自由な方には必要なのかを体験を通じて子供たちも感じることができました。



### ●今後の活動予定

夏休みのバリアフリー調査をきっかけに今後「樽見鉄道の駅の情報」を一冊の本にまとめる活動をしている「あいマップ作ろう会」の調査に興味のある方は引き続き参加していく予定です。